

次期学習指導要領改訂に向けた『論点整理』が出ました
ー常識的なスタートで逆に意外だと思われる方が多かったのでは？ー

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

次期学習指導要領改訂に向けた情報提供

令和6年9月17日 今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の 在り方に関する有識者検討会（第15回） 資料 1
今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 論点整理(案)
(目次)
はじめに
1. これからの社会像とこれまでの学習指導要領の趣旨の実現状況
(1) これからの社会像 (2) 現行学習指導要領の目指したものとその趣旨の実現状況 (3) 現行学習指導要領の実施上の課題
2. これからの社会像や現状の課題を踏まえた資質・能力
(1) 学習指導要領における資質・能力の枠組み (2) 学習の基盤となる資質・能力 (3) 学校におけるデジタル学習基盤の整備を踏まえた学びの在り方
3. 各教科等の目標・内容、方法、評価
(1) 資質・能力の育成に向けた効果的な目標・内容の構成方法 (2) 学習評価の現状と育成すべき資質・能力を踏まえた今後の対応
4. 多様な個性や特性、背景を有する子供たちを包摂する柔軟な教育課程
(1) 現行の「個に応じた指導」の記述と充実の在り方 (2) 教育課程の柔軟性の在り方 (3) 学校段階間の連携・接続の在り方
5. 学習指導要領の趣旨の着実な実現を担保する方策や条件整備
(1) 教育課程を実施する上での学校現場の過度な負担を防ぐための在り方 (2) 教科書・教材の在り方 (3) カリキュラム・マネジメントの実態と今後の推進の在り方 (4) 教育課程の円滑な実施に向けた学校への支援と環境整備
6. 学習指導要領の趣旨の実現に向けた政策形成・展開
(1) 学習指導要領・解説等の形態 (2) 学習指導要領の改訂プロセス、学校や教育委員会との共有・浸透の在り方 (3) 社会的ニーズとの整合性

『今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会論点整理』（2024年9月18日）

- 「資質・能力」「習得・活用・探究」「主体的・対話的で深い学び」をベースに発展させる
- 探究的な学習
- デジタル学習基盤（GIGAスクール構想第2フェイズ）
- 個に応じた指導（個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実）
- カリキュラム・マネジメント
- スクール・ポリシー（高校）
- ウェルビーイング（>「これからの社会像」）
「幸福・福祉（Well-being）」

中教審会長が語る次期学習指導要領 「柔軟に工夫する余地広げて」

🔒 有料記事

聞き手 山本知佳 編集委員・宮坂麻子 2024年9月21日 6時00分



独立行政法人教職員支援機構の荒瀬克己理事長
=2024年7月3日午前11時35分、茨城県つくば市、山本知佳撮影

次期 学習指導要領 の改訂に向けた文部科学相から 中央教育審議会 への諮問が、今年中にも行われる。GIGAスクール構想で1人1台の端末が整備されて初の改訂。教員の 働き方改革 も叫ばれる中、どのような議論が必要なのか。有識者検討会や 中教審 の委員ら4人に考えを聞いた。まずは 独立行政法人 教職員支援機構 理事長で、中教審会長の荒瀬克己さんから。

- (個人的な意見) 現行の学習指導要領を大きく変える必要はない
- コンピテンシーの視点からコンテンツを整理
- カリキュラム・オーバーロードへの対処
- 探究・デジタルを活用して個別最適な学びの充実へ



No233

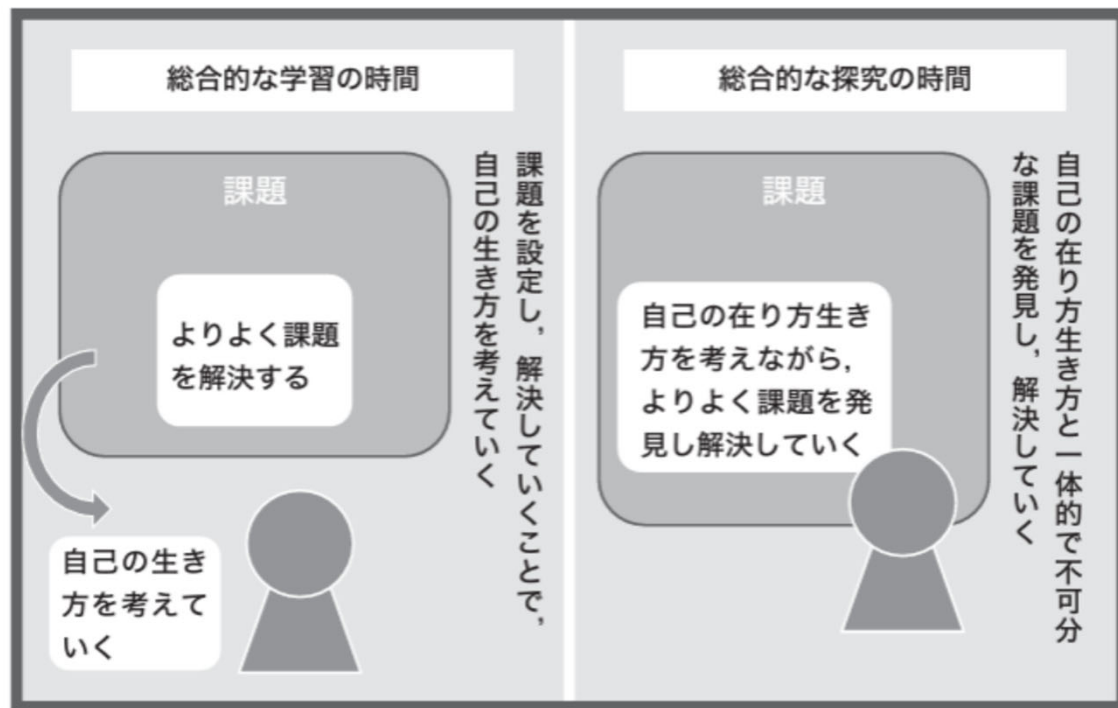
新著の紹介



溝上の新著
幸福と訳すな！
ウェルビーイング論
—自身のライフ構築を目指して—

溝上慎一の教育論「動画チャンネル」(基本的に毎週水・土に配信しています)

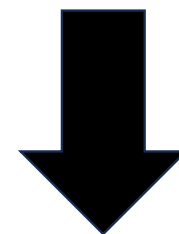
総合的な探究の時間 「自己の在り方生き方」



総合的な探究の時間の指導要領『解説』

主体的・対話的で深い学び

＜主体的な学び＞（現行学習指導要領）
学ぶことに興味や関心を持ち、**自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、**
見通しを持って粘り強く取り組み、**自己の学習活動をふり返って次に繋げる学び。**



これはウェルビーイング
でもあります

No286



「主体的に学習に取り組む態度」 の評価をどう考えるか？

（次期学習指導要領改訂に向けた二観点評価の提案）

西岡加名恵先生
（京都大学大学院教育学研究科 教授）

溝上慎一の教育論「動画チャンネル」（基本的に毎週水・土に配信しています）

ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

